

(臨床研究に関する公開情報)

埼玉病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究で情報を利用することを希望しない場合は、研究対象から除外いたしますので、末尾の【問い合わせ先】へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】

小児(20歳未満)の嚥下造影検査実施症例の検討

【研究責任者】

リハビリテーション科医師 杉山瑤

【研究の背景】

嚥下造影検査は摂食嚥下障害(食べる機能の障害)が疑われる患者さんに対して行われる検査です。成人では脳卒中の患者さんや頭頸部の手術後の患者さんなどに広く行われており、研究結果も数多く報告されています。一方、小児では哺乳が十分できなかったり肺炎を繰り返したりする患者さんの原因検索のための検査や、摂食嚥下障害をきたすことがわかっている先天性疾患のある患者さんの病状評価のための検査が行われています。ただ、成人と比べて小児では検査を行っている医療機関が少なく、研究もまだ十分には進んでいません。

【研究の目的】

過去に埼玉病院で嚥下造影検査を行った小児の患者さんのカルテ情報を収集し、検査結果や治療の経過を調査することで、今後、嚥下造影検査を活用して食べるための安全かつ効果的なリハビリテーションを進められるようにしていくことがこの研究の目的です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

20歳未満の患者さんで、2019年4月1日から2021年3月31日の間にリハビリテーション科で嚥下造影検査を受けた方

●研究期間

研究承認日から2022年3月31日

●利用する情報：この研究では下記のカルテ情報を収集します。

年齢、性別、診断名、検査目的、嚥下造影検査結果(誤嚥などの画像上の異常所見、ムセなどの臨床的な異常所見、検査実施者による総合的な評価結果)、検査前後の食事摂取の状況(食事の種類、食事の姿勢、食事介助者の配慮事項など)

【研究の意義】

この研究に参加することで直ちに患者さん個人に利益が生じることはありませんが、研究の成果は今後の診療に活用され、学会報告等を通じて将来の小児の摂食嚥下障害の検査・治療法の進歩に有益となることが期待されます。

【研究組織】

この研究は、当院のみで実施します。

【情報の管理】

この研究に関わって収集される情報は研究責任者が管理し、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。収集した情報は、解析する前に氏名・カルテ番号等の研究に不要な情報を削除し、代わりに研究用の識別符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを仮名化といいます）。識別符号の対応表と仮名化した情報は、研究責任者が院内の鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も氏名などの個人情報が見られないようにした上で公表します。

【問い合わせ先】

国立病院機構埼玉病院
リハビリテーション科 杉山瑤
電話 048-462-1101